

空手道の2020年オリンピック正式種目化を推進する会 都議会が空手道支援を決定



2020年東京オリンピック・パラリンピックでの空手道の正式種目化実現を目標に、空手道関係者によって組織した会です。国内外を問わず広く一般社会に向けて、空手道の魅力、ニュース、インフォメーションを発信するとともに、空手道関係者へのフィードバックを通してオリンピックへの意識を高めることを目的とします。

Latest News

都議会 全会一致で空手道の支援を可決

11月28日、東京都議会自民党空手道推進政策研究会（高島直樹会長＝都議会議長）が総会を開き、空手道のオリンピック正式種目採用に向けた決議をしました。そのあと開かれた東京都議会定例会議において「2020年東京大会における野球・ソフトボールと空手道の競技実施を求める」議案を提出し、起立採決の結果、全会一致で可決されました。

空手道は野球・ソフトボールと共に2020年オリンピック・パラリンピック開催地である東京都のバックアップを得ることができました。

また、同意見書は12月2日に舩添要一都知事、下村博文五輪担当相に高島議長より手渡されました。

署名活動 60万人突破！

（公財）全日本空手道連盟が進めてきた空手道の正式種目採用を目指す「50万人署名運動」に、12月8日現在、目標を大きく上回る66万4219名の署名が国内外から集まりました。

奈藏氏、香川氏が世界連盟の要職に

11月にドイツで行なわれた世界空手連盟（WKF）総会・理事会において、全空連の奈藏稔久理事がWKFナンバー2の要職、事務総長に就任することが決まりました。また、香川政夫氏（日本代表監督）がWKF技術委員長に選任されました。日本人が世界連盟の要職に就いたことは、2020年五輪に向けた期待の現れでもあり、積年の夢「正式種目採用」に向けて日本と世界の強力なタッグが出来上がりました。